

大和町初地域おこし協力隊

問 まちづくり政策課 ☎345-11115

元プロ野球選手・石橋良太さん

地域おこし協力隊として始動

interview

RYOTA ISHIBASHI

HISTORY

- 1991 大阪府堺市堺区生まれ
- 2010 明德義塾高校卒業
- 2014 拓殖大学卒業、Hondaへ入社
- 2015 プロ野球ドラフト会議で、東北楽天ゴールデンイーグルスから指名を受け入団
- 2019 チーム2位の勝ち星を挙げ、クライマックスシリーズ進出に貢献
- 2023 現役引退
農産物の通信販売などを展開
- 2025 大和町地域おこし協力隊に就任
ネギ農家として活動する

農家として地域を盛り上げるセカンドキャリア

町では、元プロ野球選手の石橋良太さんを地域おこし協力隊に任命しました。

石橋さんは、プロ野球球団東北楽天ゴールデンイーグルスに8年間在籍し、地道なトレーニングと努力を積み重ね、投手として多くの試合に出場され、ファンからも厚い信頼を寄せられました。

現役引退後は、「農業」に関心をもち、農産物の通信販売を展開され、そうした活動を通じて生まれたご縁から、大和町で本格的にネギ農家として取り組むことを決意。

そしてこの度町として初の、地域おこし協力隊に就任。農家として地域を盛り上げるセカンドキャリアをスタートし、「農業する姿をSNSなどで発信して、新たな就農者の掘り起こしや、町のPRにもつながってほしい」と、力強く意気込みを語ってくれました。そんな石橋さんに、これまでの歩みとこれからの展望についてインタビューしました。



石橋さんにインタビュー

プロ野球時代の思い出や
学んだことを教えてください

2019年の開幕戦が印象的です。ホームランを打たれ逆転を許してしまい、2軍落ちを覚悟しましたが、その日の夜に当時の監督から「次も行くぞ」と励ましの電話をもらいました。気持ちを切り替えて挑んだ、2日後の同カードでプロ初勝利。結果的にその年はキャリアハイの成績を残すことができました。失敗を捉え直す姿勢の大切さを学びました。

大和町地域おこし協力隊に
応募したきっかけは

農業に興味があり、本格的な農業をしたいと思っていたところ、知人を通じて大和町の農地を紹介してもらい、地域おこし協力隊も募集していることを知りました。自分の新たなチャレンジとして、地域を盛り上げながら農業をしていきたいと思ったことがきっかけです。

現在の活動内容は

吉田地区の農地1.5ヘクタールを借りて、ネギを栽培しています。まだ農地はすべて使われていないので、他の野菜の栽培も考えています。ネギの定植後は、雑草との戦いで農業の大変さが身に染みていますが、地元農家さんのご指導、ご協力を得ながら日々農業の勉強をしています。

これから地域おこし協力隊として
どんなことに挑戦したいですか

「スポーツ×農業×地域」で
地域を盛り上げたい

将来的には農家として自立してやっていきたいと思っています。

まずは今の農地でのネギ栽培を軌道に乗せ、現在の活動を発信し就農のPRを行いながら、これまでの経験を活かして野球教室なども開催できればと思っています。

そして、大和町の良いところをたくさん見つけていきたいです。

最後に、町民の皆さんに
メッセージをお願いします



農業体験会を開催したいと思っていますので、その時はぜひ参加してください。

大和町で見かけたときは優しく声をかけてください！

“地域おこし協力隊”とは

「地域おこし協力隊」は、総務省の制度に基づき、都市部などから地方へ移住した人材が、地域の活性化に取り組む制度です。各自治体が募集・任用し、協力隊員は地域の魅力発信や観光振興、農業支援、教育活動など、多様なテーマで地域課題の解決に挑みます。任期は1年～3年程度で、終了後の定住や起業を目指す人も多く、地域に新しい風を吹き込む担い手として全国的に注目されています。